

再配達ゼロの街をめざして

提案分野: 人・モノの移動での脱炭素
(グループF)



目次

1. 背景
2. 具体的な3つの行動
3. それぞれの役割
4. 行動を広げるための手法
5. 期待される効果



背景

宅配便の数も、
再配達率も
増えている！



再配達は二酸化炭素排出量
増加に繋がってしまう！

ヒト・モノ・移動の脱
炭素??



運転手が働きやすい環境
を目指したい！



私たちグループFは、
「再配達ゼロの街」をめざします！！



具体的な3つの行動



①受け取る時間(タイミング)の工夫

②置き配の活用

③受け取る場所の工夫

具体的な3つの行動（イメージ図）

①受け取る時間
(タイミング)の工夫

家にいよう



②置き配の活用

家にいないとき



③受け取る場所
の工夫

受け取り出来ないとき



①受け取る時間の工夫

市民(自分)の役割

時間指定をする

LINE受取システムを積極的に活用する

その他(自治体・企業など)の役割

この時間に家にいよう!という仕組み

→トラックの位置共有サービス

→宅配業者の段ボール回収制度

商品が入っている段ボールを、
到着時に宅配業者の方に渡すことで、
資源ごみを捨てる手間を省く



③受け取る場所の工夫

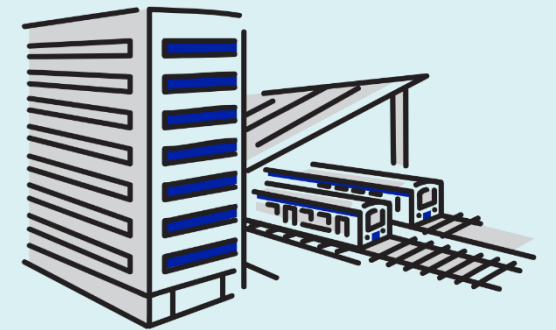
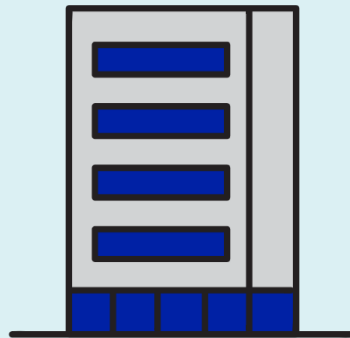
市民(自分)の役割

どこにいても(会社、学校、駅等)
受け取りに行く！！

その他(自治体・企業など)の役割

配達業者が来る施設には、
個人の荷物も受け入れ可能にする

コンビニ以外にも、私たちが使う
施設は沢山あるよね！



行動を広げるための手法

声の大きな人による
リーダーシップ

地域コミュニティ
(町内会等)の活用

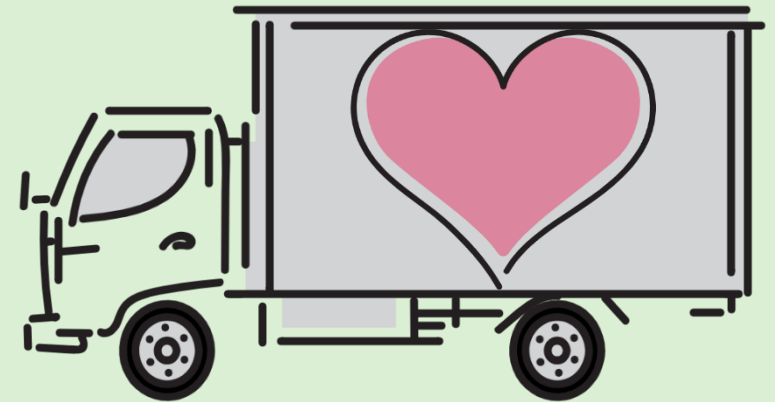


学校教育を活用し
た、若い世代
への啓発

PRグッズ作成に向けた
市民参加型イベント・コン
テスト

期待される効果

- 再配達率の低下
- ドライバーの労働環境改善
- トラックの二酸化炭素削減
- 若い世代の意識向上
- 地域コミュニティの活性化





ご清聴ありがとうございました！